

11/29 English Presentation Contest

1部優勝者：Risa Horike 2部優勝者：Eri Okazaki



留学生、日本人学生、留学経験者による、英語でのプレゼン大会が初めて OLIVE SQUARE で行われました。昨年できた英語オンリーのスペース (EnglishCafe) の充実を受けて、参加者たちは思い思いのプレゼンを披露し、大変よい機会となりました。

12/2 留学 Round Table

水

留学経験者からの発表の様子



今回初めて行われた留学 RoundTable では留学経験者、留学生による体験談がたくさん語られました。留学生活中の出来事や渡航前の準備や悩みへの周りからのフォローがあったことなど、お茶とお菓子をつまみながら、語り合いました。

12/4 幸町キャンパス総合防災訓練

金

負傷者への応急救護方法指導



災害発生から初期消火、避難、伝達、応急手当などの訓練を一連の流れの中で実施し、災害時にとるべき行動を再確認しました。屋内消火栓や水消火器を用いた消火訓練、さらに応急救護訓練を実施しました。

12/1 「県政について話そう」知事意見交換会

火

意見交換会の様子



経済学部学生チャレンジプロジェクト事業として採択され活動をしているチーム「地元再発見の旅プロジェクトまたたび」および「地域連携学生委員会なえどこ」の学生を対象として開催しました。後日高松ケーブルテレビにて放送予定です。

12/4 アドバンスト・セミナー

金

講師：坂根弦太准教授 (岡山理科大学理学部准教授)



テーマは「小さすぎる原子・分子・電子の世界-周期表のひみつ」。小さな原子・分子・電子の大きさについて日常目にする物質との比較、通電物質に関する実験等が行われ、参加者からは「元素をより身近に感じることができた」等と好評でした。

12/10 アドバンスト・セミナー

木

講師：中野裕介氏 (有限会社電マク代表取締役)



テーマは「メディアアートとネットメディア」。プロジェクションマッピングを用いたメディアアートの事例についてや、香川県におけるメディアアートの取組、「高松メディアアート祭」の内容や経済への波及効果等の説明がありました。

カマタマーレ讃岐との共同企画・運営



経済学部4年 栄悠里さん

私達のプロジェクトでは、香川大学経済学部 (宮脇研究室) の学生だけでなく、香川県庁や高松市役所の方々、他大学の学生、高校生等、様々な人間関係の中で、カマタマーレ讃岐のイベントの企画・運営に携わることで、社会に出る時に必要な「人間力」を身に付け、磨くことを目的としています。今年度は、「高松市ホームタウンデー」と「かまたまつり 2015」という2つのイベントを開催しました。これらの準備にあたり、イベントの約3ヶ月前から、カマタマーレ讃岐や香川県庁、高松市役所の方々と週1回の会議を行ったり、高校生の参加メンバーを集めるために自ら高校へ行き、イベントの説明を行ったりしてきました。思うように準備が進まず、苦労することもあります。イベントの企画から運営まで全て学生達で行っているため、企画力や段取り力が身に付き、社会人の方や高校生との交流を通して、コミュニケーション力やリーダーシップ力を磨くこともできたと思います！更に、イベント当日は多くのお客様から「楽しかった」や「ありがとう」等の温かい言葉を直接頂くことができたので、大きな達成感を味わうことができました！



経済学部3年 黒川みな美さん

「カマタマーレ讃岐のホームゲームをお祭りのように盛り上げたい！」という思いからスタートした「かまたまつり」は、今年で早くも3年目を迎えました。11月8日に開催された「かまたまつり 2015」では、ゲーフラ作り体験、フェイスイベント&フォトブロップス、サッカーボウリング、BOX オブジェ展示の4つのイベントを企画・運営しました。その中でも、ゲーフラ作り体験は、「お客様に繰り返し持ってきて頂けるようなオリジナルのゲートフラッグを作って頂きたい！」というコンセプトの下、これまで一番大きな A2 サイズの紙製の旗に、エンブレムやロゴ、選手の名前、一言フレーズ等の簡単に切り貼りできるアイテムをご用意しました。当日は、小さなお子様から大人の方までたくさんの方にご参加頂き、試合時には、作成したゲートフラッグを掲げて応援しているサポーターの姿も見ることができました。今後も、学生ならではの視点から、お客様に楽しんで頂けるイベントを企画・運営し、更にカマタマーレ讃岐を盛り上げていきたいです！



学生 VOICE は、「香川大学メールマガジン」にも掲載しています。メールマガジンでは、他にも大学の最新ニュース、イベントのご案内など、大学の情報を月に1回お届けしています！

12月の「カダイ・ラボ」はインターナショナルオフィスのロン先生にご執筆いただきました。先生のプロフィールも掲載中です。バックナンバーの閲覧、登録はこちら

